

■ やっと自肅も解除され他県の移動も許可された。この間、診療所から皆さんの足は遠ざかり（全国の医療機関も同じ様子）必要な健診や受診もわきに置かれた。安達先生から「正しく恐れて」にまけない方が「づくり」が提案され、若手職員が素敵なフット＆タ-を作成、幹事会でも「積極的に健診と必要な受診を受けよう」と呼びかけが始まった。6月末の健診は1日枠を超える予約が入った。さすが「友の会」の力。30年の歴史、地域の宝。この診療所の先生・職員の熱い想いを広げてください。秋から仲間増やしを取り組みはじまります。

どうして内科クリニックで骨粗しょう症診療をはじめたか？

・・・2015年10月「骨密度」検査開始の想い・・・
～こんなことをかながえてただんだな～

2015年10月 骨密度検査をはじめました！

○当時の新潟市骨粗しょう症病診連携の実態

新潟市で骨粗しょう症病診連携が始まってから3年が経過しました。当時、西區新潟中央病院の骨粗しょう症専門外来に10名ほどでしょうか、ご紹介し、今も連携を継続している患者さんもおられます。しかしなかなか増えない。もう年だからいいと言って、やはり受診していただけない。「先生のところでは検査できないんですか？」と言われ情けない思いをしてきました。

骨密度検査は、簡便法としてはかかとの超音波検査でおおよそはわかります。しかし治療が必要か否か、ましてや治療効果を見るための経過観察としては役に立ちません。そこで考えたことは、もはや自分でやるしかない、腰椎と大腿骨の骨密度を測定できる装置を買おう！とまさに「清水の舞台」から飛び降りる気持ちでした。なぜなら、内科クリニックに導入してもペイしない、赤字前提の医療器械だからです。

○医療介護総合確保推進法」制定による要支援の介護保険外しと高齢通

院患者さんの実態

ちうひとつ動機がありました。今年4月、介護保険法が改正されました。要支援1・2が介護保険から除外され、自治体の総合事業に移管されたのです（新潟市は移行措置として2年の猶予があたえられました）。




(医)新潟勤労者医療協会 健康友の会 城井輪織支部
〒950-2054 新潟市西區寺尾東8-1-19
友の会事務局 ☎ fax025-269-6682
e-lisakaiwa_syain@nigata-min.or.jp



by 安達先生

ようするに、要支援1・2に認定される利用者さんのほとんど

が、骨粗しょう症による転倒骨折、筋力低下によるサルコペニア、変形性腰椎症、膝関節症などなのです。足腰が弱り、重い物に行く、ごみ捨てに行くだけでも困難を抱える高齢者、それも独居や老老介護の家庭が大変多いのです。高血圧症で通院中の患者さんが、最近来ないと思ったら骨折して入院していた、退院したが家事ができなくなりました。しかし介護保険から除外されたら、家事援助が除外される、全額自費でまかなえと、これが国の方針です。

私たち かかりつけ医は、内科の患者さんから、①進行がんで命をとられる人をなくす ②脳梗塞や心筋梗塞で後遺症を残す人を減らす この2点を診療の柱に予防活動、健診を行ってきました。これからは、③骨折して寝たきりになる人を出さない このことも診療の柱のひとつに加えなければならぬ、そう思うてきました（もうひとつは ④認知症です）

○当院通院中の女性患者さん 42%が骨粗鬆症、28%に骨量減少

そこで2015年10月から全身骨密度装置を導入し、2ヶ月で103人の患者さんの検査を行いました。95名の女性のうち40名が骨粗しょう症、27名の境界型の方を加えると、70%の女性に骨量減少が認められました。これが内科外来に通院されている患者さんの実態なのです。これらの患者さんが骨折しないように、生活指導、薬物介入をはじめたところです。（もちろん、整形外科通院中の患者さんには検査をしません） *裏面に続く⇒

6月幹事会で今年度方針を確認しました

■6/10の幹事会では2020年度活動方針及び役員を確認しました。・神立総支部長進行により安達所長のあいさつがあった後、事務局より2019年度総括・2020年度方針及び、決算・予算の報告があり確認されました。■特に今年度はコロナ対応もあり、秋冬の二次感染も想定される中、友の会員のみなさんとの声掛けや孤立した人への適切な援助なども提案され、各支部で検討されることになりました。また「コロナにまけないカラダづくり」を広げ積極的な、坂井輪診療所への健診・受診を促す取り組みも提案されました。この時期こそ「診療所と友の会」の役割が発揮されることを確認しました。以下が今年度の役員のみなさんです。

2020年度 友の会役員

- | | | | |
|--------------|----------|----------|---------|
| ● 総支部長 | ： 神立 秀明 | ● 各支部幹事 | |
| ● 副総支部長 | ： 今井 ヨシイ | ・ 青山 | ： 太田 晴久 |
| | ： 倉沢 静江 | ・ 真砂 | ： 星 弘 |
| | ： 平 あや子 | ・ 東青山/小針 | ： 太田 捷二 |
| ● 事務局長 | ： 服部 正史 | ・ さかいわ | ： 渡辺 豊 |
| ● 保健部長 | ： 藤田 ミイ子 | ・ 坂井東 | ： 川崎 晴美 |
| ● 社保部長 | ： 高木 義弘 | ・ 新 通 | ： 星 啓子 |
| ● 組織部長 | ： 高橋 実 | ・ 五十嵐 | ： 小川 伸一 |
| ● 診療所所長 | ： 安達 哲夫 | ・ 内野 | ： 松原 利己 |
| ● 同 事務長 | ： 石井 ゆう | ・ 西内野 | ： 神立 秀明 |
| ● 同看護師長 | ： 山田 奈保美 | | ： 小川 マキ |
| ● 訪問看護 st 所長 | ： 鈴木千里 | ・ 黒崎（準） | ： 志賀 洋子 |



どうして内科クリニックで骨粗鬆症診療を始めたのか？ = その2 =

○骨折がなあってから再骨折予防の治療がされていない現状

→内科でやるしかない！

また骨粗しょう症と診断された40名の患者さんから気づくことがありました。

- ①8名の患者さんに腰椎圧迫骨折の既往がありました。しかし整形外科からは治療されていませんでした。②整形外科で骨粗しょう症と診断されたことのある患者さん7名中6名が、ビタミンDだけの治療でした。③25名が、高血圧、脂質異常症、糖尿病のいずれかの内科疾患で治療中でした。④骨密度の低下部位は、腰椎23名、大腿骨17名であり、75歳を境に逆転していました。

閉経後は腰椎から骨吸収が亢進し、しかし加齢とともに腰椎の変形、石灰化などが加わり、見かけ上、腰椎の骨密度が高く測定されるようです。高齢者、いえ若い人であっても、大腿骨の骨密度測定を省略してはならないと、実感しました。新潟市西区は人口15.8万人、高齢者は4.2万人です。一般病院4箇所、全身用骨密度検査機のある整形外科クリニックが3箇所、そして内科で導入したのは坂井輪診療所、計8台ということになります。内科として、専門医ではありませんが、ご近所の患者さん、とりわけ高齢の女性が足腰が弱らないように、骨折しないように、少しでもお役に立てればと考えています。（坂井輪診療所HPより転載）



今年の「さかいわ健康まつり」中止のお知らせ

■新型コロナウイルス秋冬における感染拡大防止のため幹事会で協議の結果、今年の「さかいわ健康まつり」は中止させていただくことになりました。楽しみにされていた皆様には誠に申し訳ありませんが、未曾有のことでもありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

7月予定・

- 7/7 (火) 事務局会議
- 7/15 (水) 幹事会

